

平成31年度「児童・生徒の学力向上を図るための調査」を受けた皆さんへ

間違えてしまったときの復習のポイント(中学校用)

個人票の裏面には、問題ごとの結果が記されています。誤答または無解答であった問題（「0」になっている問題）については、次の「復習のポイント」を参考にして復習しましょう。

【国語】

問題番号	通し番号	復習のポイント
①(1)	1	小学校6年生までに学習した漢字を、音読みや訓読みに注意して正しく読めるようにすること。
①(2)	2	
①(3)	3	
②(1)	4	小学校6年生までに学習した漢字を、部首や意味の <sup>ちが</sup> 違いに注意して正しく書けるようにすること。
②(2)	5	
②(3)	6	
③(1)	7	指示する語句が指し示している内容を理解しながら話を聞いたり文章を読んだりすること。
③(2)	8	歴史的 <sup>かなづか</sup> 仮名遣いに注意して、古文をくり返し音読すること。
④(1)	9	主語と述語、 <sup>しゅうしょく</sup> 修飾語と <sup>ひしゅうしょく</sup> 被修飾語など、語句と語句とのつながり確かめながら文章を読んだり書いたりすること。
④(2)	10	
⑤(1)	11	何をどのように表現しているのかを細かく <sup>とら</sup> 捉えながら物語を読むこと。
⑤(2)	12	登場人物の言動がどのように <sup>えが</sup> 描かれているのかを想像しながら物語を読むこと。
⑤(3)	13	場面ごとに、自分を登場人物に置きかえて、気持ちの変化や行動の理由を考えること。
⑤(4)	14	
⑥(1)	15	大きな意味のまとまりごとに、文章全体での役割を理解すること。
⑥(2)	16	接続する語句が文章の中で果たす役割を理解し、段落ごとに内容を <sup>とら</sup> 捉えること。
⑥(3)	17	図表などが文章のどの部分と関連しているのかを確認しながら、文章の内容を理解すること。
⑥(4)	18	書き手がどのように考えを進めているのかを考えること。
⑦(1)	19	目的や意図に応じて、集めた材料をもとに自分の考えをまとめること。
⑦(2)	20	図表やグラフなどを効果的に用いて、事実などを分かりやすく伝えること。
⑦(3)	21	書き手の目的と意図を理解して、 <sup>こんきょ</sup> 根拠の明確さなどについて助言をすること。
⑧(1)	22	必要に応じて質問し、相手が言いたいことを確かめたり、足りない情報を聞き出したりすること。
⑧(2)	23	
⑧(3)	24	話合いの話題や目的を意識して話したり聞いたりして、自分の考えをまとめること。

## 【社会】

問題番号	通し番号	復習のポイント
1	(1)	1 目的に応じた様々な地図を用いて、大陸の位置関係を読み取ること。
1	(2)	2 世界地図を用いて、主な国の地球上の位置関係を捉えること。
1	(3)	3 地球上の位置を緯度・経度を用いて表すこと。
1	(4)	4 世界各地の人々の生活と時差とを関連付けて考察すること。
2	(1)	5 世界の気候帯の分布を用いて、雨温図を読み取ること。
2	(2)	6 世界の気候と世界各地の人々の生活とを関連付けて捉えること。
2	(3)	7 主題図を用いて、世界の主な食べ物と人々の生活の様子との関連について考察すること。
2	(4)	8 主題図を用いて、世界の主な宗教と人々の生活の様子との関連について考察すること。
3	(1)	9 地図と地形を表した資料を関連付けて、北アメリカ州の地形的特色を捉えること。
3	(2)	10 アメリカ合衆国の農業の特色を、複数の資料を関連付けて読み取ること。
3	(3)	11 アメリカ合衆国の農業の特色を調べるために必要な資料を考察すること。
3	(4)	12 アメリカ合衆国の工業の変化について、資料と関連付けて説明すること。
3	(5)	13 貿易に関する資料を用いて、主な国の位置と産業の特色とを関連付けて捉えること。
4	(1)	14 中国文明のおこりと発展について理解すること。
4	(2)	15 世界の古代文明の特徴から、生活技術の発達などの共通する特徴を捉えること。
4	(3)	16 年代の表し方、時代区分の意味や意義について理解すること。
5	(1)	17 大和朝廷（大和政権）による統一の様子について、古墳の大きさやその分布などの資料と関連付けて捉えること。
5	(2)	18 資料と関連付けて、我が国が律令国家として形づくられていったことを捉えること。
5	(3)	19 奈良時代の税制と土地制度について理解すること。
5	(4)	20 古代までの日本の主な人物の業績について理解すること。
6	(1)	21 武士の政治への進出の過程について理解すること。
6	(2)	22 承久の乱後の武家政治の支配の広まりについて、資料と関連付けて捉えること。
6	(3)	23 永仁の徳政令が出された理由について、資料と関連付けて捉えること。
6	(4)	24 鎌倉時代の政治体制について、他の時代と比較したり関連付けたりして捉えること。
6	(5)	25 鎌倉時代と室町時代の民衆の生活の様子の違いを資料から読み取ること。
7	(1)	26 時期や年代、現在とのつながりに着目して、資料から情報を読み取ること。
7	(2)	27 奈良の文化財の特徴を資料から読み取ること。

【数学】

問題番号	通し 番号	復習のポイント
①(1)	1	最高気温と最低気温の差を求める式を作ること。
①(2)	2	正負の数の加減をすること。
①(3)	3	正負の数の乗除をすること。
①(4)	4	正負の数を利用して平均を工夫して求めること。
②(1)	5	式の値を求めること。
②(2)	6	分配法則を含む文字式の計算をすること。
②(3)	7	1次方程式を解くこと。
②(4)	8	等式の変形をすること。
③(1)①	9	図形のある部分の長さを、文字を使った式で表すこと。
③(1)②	10	全ての値について成り立つことを示すために必要な方法が分かること。
③(2)	11	式の考え方を表す図を選ぶこと。
④(1)	12	ある数量を、文字を使った式で表すこと。
④(2)	13	方程式から、何を $x$ と表したかが分かること。
⑤(1)	14	関数の定義について理解すること。
⑤(2)	15	座標を座標軸に表すこと。
⑤(3)	16	グラフから、水面の変化の様子について考察すること。
⑥(1)	17	角の二等分線の作図をすること。
⑥(2)	18	作図した図を見て、その意味について考えること。
⑦(1)	19	円錐の体積を求めること。
⑦(2)	20	円錐の展開図が分かること。
⑦(3)	21	見取り図について理解すること。
⑧(1)	22	ヒストグラムから、代表値について読み取ること。
⑧(2)	23	階級の幅を変えたヒストグラムを選ぶこと。

【理科】

問題番号	通し番号	復習のポイント
1	(1)	1 身近な生物の観察を行い、ルーペの使い方を理解すること。
1	(2)	2 いろいろな植物の葉、 <sup>くき</sup> 茎、根のつくりの観察を行い、葉、茎、根のつくりの基本的な特徴 <sup>とくちよう</sup> を理解すること。
1	(3)①	3 実験の条件を検討し、実験の計画を立案すること。その際、植物の成長に影響 <sup>えいきよう</sup> すると思われる要因を複数挙げて、どの要因が光合成に影響するかを考えた上で、具体的な実験の方法について検討すること。
1	(3)②	
1	(4)	
2	(1)	6 <sup>すいようえき</sup> 水溶液の温度を下げたり水溶液から水を蒸発させたりする実験を行い、水溶液から溶質を取り出し、溶解度と関連付けて理解すること。
2	(2)	7 また、有色の物質を水に溶かす実験を行い、水溶液のどの部分も色が同じ濃 <sup>こ</sup> さになることから、水溶液中で溶質が均一になっていることや、質量パーセント濃度 <sup>のうど</sup> について理解すること。
2	(3)	
3	(1)	9 物質を加熱したり冷却 <sup>れいきやく</sup> したりすると状態が変化することを観察したり、状態が変化する前後の体積や質量を比べる実験を行ったりすることで、状態変化は物質そのものが変化するのではなく、その物質の状態が変化することを理解すること。
3	(2)	
3	(3)	
4	(1)	12 ゴム膜を使った円筒を水中に沈める実験などを行い、深いところほどゴム膜のへこみが大きくなることから、水圧と水の深さに関係があることを理解すること。このとき、ゴム膜の上にある水がゴム膜に力を及ぼしていることと捉え、水圧が水の重さによって生じていることを理解すること。
4	(2)	13 力の大きさについては、単位としてニュートン (N) を用いること、1 Nの力とは、質量が約 100 g の物体に働く重力と同じ大きさであることを理解すること。
5	(1)	14 ばねに加える力の大きさとばねの伸び <sup>のび</sup> を測定する実験を行い、測定結果から力の大きさと伸びとの関係を見だし、力の大きさはばねの変形の量で測定できることを理解すること。
5	(2)	
5	(3)	
6	(1)	17 光を鏡で反射させる実験を行い、光の進む道筋を記録させ、入射角と反射角が等しいことを見いだすとともに、鏡に映る像を光の反射と関連付けて理解すること。 屈折については、台形ガラスなどを用いて実験を行い、光が空気中からガラスや水に進むときは、入射角よりも屈折角 <sup>くつせつ</sup> が小さくなるように進み、入射角を変化させるにつれて屈折角が変化することを理解すること。また、ガラスや水から空気中に光が進むときは、光が上の場合と逆の経路をたどり入射角よりも屈折角が大きくなるように進むこと、さらに入射角を大きくしていくと全反射が起こることなどを理解すること。
6	(2)	
6	(3)	
7	(1)①	20 火山の形や活動の様子及び火山噴出物 <sup>ふんしゅつ</sup> の観察記録や資料の活用を通して、それらが互いに関連していることに気づき、火山や火山噴出物とマグマの性質との関連を理解すること。
7	(1)②	
7	(2)	22 地震 <sup>じしん</sup> の原因は、大規模な大地の変動や火山活動と関連があり、日本列島付近の火山や震源の分布などはプレート <sup>プレート</sup> の動きによって説明できることを理解すること。
8	(1)	23 地層を構成する堆積岩 <sup>たいせき</sup> としては、れき岩、砂岩、泥岩 <sup>でい</sup> 、石灰岩、チャートなどがあり、それぞれ粒の大きさや構成物質の違いがあることを理解すること。
8	(2)	24 地層を観察し、その構成物の種類 <sup>つぶ</sup> 、粒の大きさや形、色や硬さ <sup>かた</sup> などの特徴 <sup>とくちよう</sup> からそのでき方を考え、地層の堆積環境 <sup>たいせきかんきよう</sup> や生成年代が推定できることを理解すること。
8	(3)	25 地層に見られる断層、しゅう曲について、大地の変動と関連付けて理解すること。

【英語】

問題番号	通し番号	復習のポイント
1(1)	1	(リスニング問題)
1(2)	2	・相手の話を聞き、積極的に応答しようとする事。 ・英文を音読することができるようになる事。
1(3)	3	(音読することができるようになると、聞き取りやすくなります。)
2(1)	4	・教科書本文の音読やペアワーク等を通して、依頼や許可の表現を練習すること。
2(2)	5	・質問されている内容を理解するために、疑問詞 (what, who, when, where など) を十分に聞き取れるようにすること。
2(3)	6	・場面を想像しながら聞き取ること。 ・細かな情報を聞き取る際に、メモを取りながら聞き取ること。
3	7	写真や絵などの内容を口頭で伝えられるようにすること。また、口頭で伝えた内容を正確な英文で書くこと。
4(1)	8	時や場所など、様々な意味を表す前置詞を理解すること。
4(2)	9	
5	10	過去形を用いて、自分の体験等を2文以上のまとまりのある英文で書くこと。
6	11	質問に対して、2文以上のまとまりのある英文で答えること。
7(1)	12	まとまりのある英文を読んで、代名詞が何を指しているかなど、その詳細を理解すること。
7(2)	13	まとまりのある英文を読んで、書き手の意向など、その趣旨を理解すること。
8(1)	14	What + 名詞で始まる疑問文の語順を理解すること。
8(2)	15	How を用いた疑問文の語順を理解すること。
9	16	英文を読み、場面や状況に応じた適切な表現を考えて、表現すること。
10(1)	17	主語に応じた適切な be 動詞の用法を理解すること。
10(2)	18	三人称の代名詞と関連して、do/does の用法を理解すること。
11	19	状況に応じて、適切な質問をすること。
12	20	英文から、必要な情報を正確に取り出すこと。
13(1)	21	英文を読み、その概要を理解すること。
13(2)	22	目的に応じて、必要な情報を読み取ること。
13(3)	23	
14	24	相手の発言に応じて、関連した質問を返すこと。